

東北地方 3か月予報

(6月から8月までの天候見通し)

平成18年5月25日
仙台管区気象台発表

<予想される向こう3か月の天候>

向こう3か月の出現の可能性が最も大きい天候は以下のとおりです。
この期間の平均気温は平年並、降水量は平年並ででしょう。

6月 前線やオホーツク海高気圧の影響で、東北地方は平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。
気温は平年並か低い、降水量は平年並か多いでしょう。

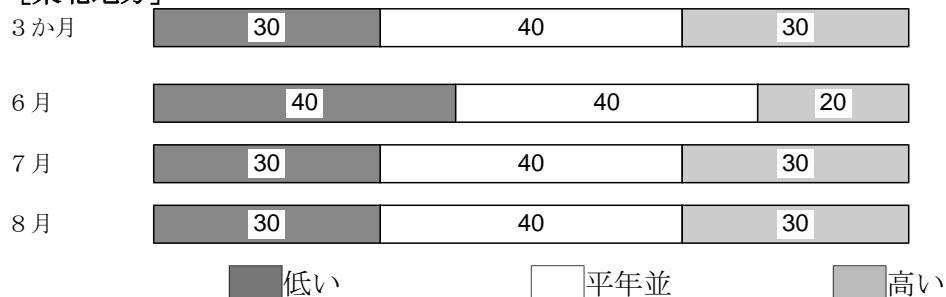
7月 前線や湿った東よりの風の影響で、東北地方は平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。
気温は平年並、降水量は平年並ででしょう。

8月 太平洋高気圧に覆われ、平年と同様に晴れる日が多いですが、一時前線や湿った東よりの風の影響で、天気がぐずつくでしょう。
気温は平年並、降水量は平年並ででしょう。

<向こう3か月の気温、降水量の各階級の確率 (%) >

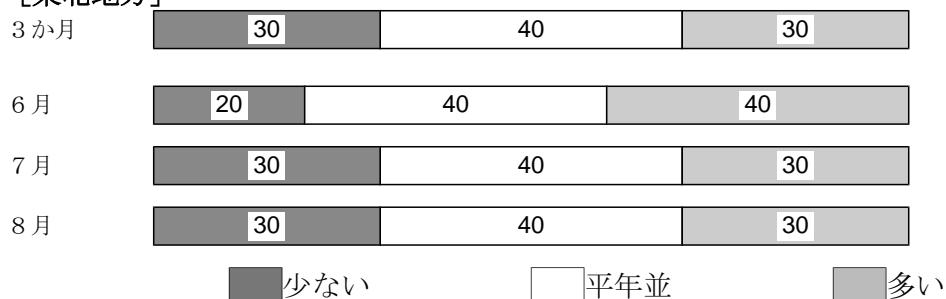
<<気温>>

[東北地方]



<<降水量>>

[東北地方]



<次回発表予定等>

1か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は5月26日

3か月予報：6月22日（木） 14時

6月の予報については、新しい資料による次回以降の1か月予報を適宜ご利用ください。

なお、暖候期予報として発表していた、この夏（6月～8月）の予報については、今回の3か月予報等の最新の予報をご利用ください。

＜参考資料（平年並の範囲等）＞

（1）平年値（月・3か月平均気温、降水量）

	気温(℃)				降水量(mm)				日照時間(時間)			
	6月	7月	8月	6月～8月	6月	7月	8月	6月～8月	6月	7月	8月	6月～8月
大船渡	17.3	21.0	23.0	20.4	171.5	170.3	198.6	546.4	148.2	150.0	161.5	459.8
新庄	18.7	22.3	23.9	21.6	131.0	185.6	174.5	491.1	152.7	154.4	177.5	484.7
若松	19.8	23.4	24.8	22.7	115.7	160.1	131.0	406.9	157.9	168.9	199.5	526.3
深浦	17.2	21.3	23.1	20.5	109.4	146.0	157.4	411.1	179.6	177.7	185.9	543.2
青森	17.0	21.1	23.0	20.4	82.2	102.6	129.3	314.1	180.7	177.3	190.8	548.8
むつ	15.6	19.6	21.7	18.9	109.0	122.8	140.4	372.1	162.6	151.1	152.8	466.5
八戸	16.1	20.2	22.3	19.6	99.2	117.1	139.8	356.1	168.8	169.0	173.3	511.1
秋田	18.8	22.8	24.5	22.0	127.5	178.1	181.9	487.6	178.0	171.5	200.4	549.8
盛岡	18.2	21.8	23.2	21.0	114.9	165.7	177.8	458.4	151.7	143.2	158.8	453.7
宮古	16.0	20.0	22.2	19.4	117.3	139.2	180.8	437.2	140.4	149.4	165.2	455.0
酒田	19.3	23.2	24.9	22.5	128.1	186.1	175.8	490.0	175.9	179.8	211.6	567.3
山形	19.5	23.2	24.6	22.5	102.6	143.9	148.8	395.3	153.8	155.8	184.7	494.4
仙台	18.3	22.1	24.1	21.5	137.9	159.7	174.2	471.8	127.9	127.7	155.4	411.0
石巻	17.7	21.3	23.5	20.8	111.6	131.0	127.0	369.6	145.6	147.9	178.1	471.6
福島	19.9	23.5	25.2	22.9	118.1	144.8	144.3	407.2	130.1	133.4	159.7	423.2
白河	18.4	22.0	23.3	21.2	167.6	186.8	228.2	582.7	121.9	129.4	154.0	404.1
小名浜	18.3	21.7	23.9	21.3	149.8	120.5	141.7	412.0	138.4	153.1	193.9	485.4

欠測により平年値を求めるための資料年数（観測値のある年数）が各月毎に異なることなどにより、3か月平年値等が各月の平年値から求めた値と一致しないことがあります。

（2）1971～2000年のデータに基づいたこの予報期間の地域平均の気温、降水量の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

要素	予報対象地域	6月	7月	8月	6月～8月
気温平年差(℃)	東北地方	-0.6～+0.2	-0.1～+0.6	-0.3～+0.6	-0.4～+0.3
	東北日本海側	-0.5～+0.2	-0.2～+0.4	-0.5～+0.5	-0.4～+0.1
	東北太平洋側	-0.5～+0.2	-0.3～+0.8	-0.3～+0.5	-0.5～+0.5
降水量平年比(%)	東北地方	82～118	89～117	73～117	82～110
	東北日本海側	71～105	83～123	74～107	84～111
	東北太平洋側	88～111	85～114	67～120	85～112

（3）梅雨時期前後における各地の平年の気象経過

旬降水量 平年値 (mm)	5月			6月			7月			8月		
	上旬	中旬	下旬									
大船渡	50.0	55.9	43.9	50.9	60.7	57.6	63.0	69.1	38.2	50.3	56.9	91.5
新庄	40.5	35.8	30.4	25.7	45.3	60.0	64.4	78.1	43.1	60.5	45.3	68.6
若松	27.5	29.3	23.7	20.3	33.7	61.7	56.1	60.5	43.5	47.2	39.1	44.8
深浦	41.3	33.5	34.0	29.4	44.4	33.6	54.4	43.2	48.3	53.8	38.6	65.0
青森	30.0	22.6	26.2	23.6	30.9	27.8	36.8	27.7	38.2	43.2	33.8	52.3
むつ	35.8	27.6	28.8	36.3	36.8	35.8	48.1	39.4	35.3	43.2	32.8	64.4
八戸	26.1	28.6	30.1	26.6	38.1	34.5	48.3	31.7	37.1	37.3	38.2	61.7
秋田	46.5	40.2	36.2	29.7	50.6	47.2	71.5	61.5	45.1	56.8	51.5	73.6
盛岡	38.6	32.7	32.0	30.8	43.3	40.8	56.8	58.2	50.7	58.6	43.7	75.5
宮古	31.9	35.5	31.0	29.5	43.7	44.1	53.8	46.4	39.0	49.5	50.0	81.3
酒田	44.7	37.7	34.4	24.9	46.4	56.7	70.1	70.7	45.3	57.4	40.0	78.4
山形	27.0	30.3	24.0	24.4	28.2	50.0	44.5	56.2	43.2	50.1	36.3	62.4
石巻	33.3	37.6	27.3	27.2	31.9	52.6	46.1	52.1	32.9	36.1	33.3	57.6
福島	25.9	35.8	25.8	25.4	31.4	61.4	46.5	53.6	44.8	45.7	36.5	62.2
白河	40.4	41.3	38.2	40.1	55.5	72.0	65.0	69.4	52.4	65.8	62.8	99.7
小名浜	48.3	60.3	38.5	35.3	47.4	67.1	49.5	46.3	24.7	46.3	33.5	61.9

旬日照時間 平年値 (h)	5月			6月			7月			8月		
	上旬	中旬	下旬									
大船渡	61.1	61.1	74.1	59.0	50.1	39.1	45.3	41.9	63.0	59.3	51.4	50.9
新庄	55.7	56.8	67.6	59.7	53.2	39.9	40.8	45.3	68.4	60.6	61.3	55.6
若松	62.8	60.1	74.9	63.9	53.9	40.1	46.8	45.6	76.6	67.8	66.4	65.3
深浦	58.4	63.9	75.1	64.5	58.6	56.6	52.7	56.1	68.9	63.3	61.8	60.8
青森	64.7	68.3	77.5	64.0	59.6	57.1	53.8	56.3	67.2	67.0	60.8	63.1
むつ	64.9	65.4	77.5	61.2	52.8	48.7	47.3	45.8	58.0	57.6	46.5	48.9
八戸	65.6	64.9	77.1	61.9	56.5	50.5	51.0	51.5	66.6	62.8	56.3	54.3
秋田	56.9	61.2	73.2	65.6	59.5	53.1	49.3	52.8	69.5	65.5	68.0	66.9
盛岡	61.3	61.7	71.9	57.8	51.3	42.6	42.2	42.0	59.1	56.4	52.9	49.6
宮古	61.6	59.4	70.8	55.3	45.3	39.8	44.9	40.8	63.9	57.7	54.7	53.0
酒田	60.5	62.3	76.6	66.2	60.0	49.7	46.5	53.4	80.0	71.0	72.3	68.3
山形	62.9	62.0	76.9	62.2	52.3	39.3	42.7	43.2	70.0	61.9	61.8	61.0
石巻	65.1	63.8	77.6	59.5	48.6	37.6	42.6	44.5	62.4	62.7	57.9	57.6
福島	64.1	59.7	74.2	54.6	43.6	32.0	37.8	37.1	58.8	57.7	51.5	50.6
白河	59.9	59.1	69.5	51.9	41.4	28.9	35.9	35.5	58.9	54.1	50.3	49.7
小名浜	62.7	62.4	74.5	58.5	44.9	35.2	42.1	41.9	69.4	66.0	65.0	63.0

(4) 接近する台風の平年値

	6月	7月	8月
東北地方	0.1	0.3	0.7

＜参考資料（利用上の注意）＞

- (1) 気温（降水量）等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971～2000年の30年間における各階級の出現率が等分（それぞれ33%）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。
- (2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30%、40%）の確率しか付けられません。
- (3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。なお、単に多い（少ない）と表現した場合には対象期間の2分の1より多い（少ない）ことを意味します。

東北地方 3か月予報解説資料 (6~8月)

平成18年5月25日 仙台管区気象台

1. 数値予報（アンサンブル予報）による大気の流れの予想

3か月平均の500hPa高度と偏差の予想図（右図）：

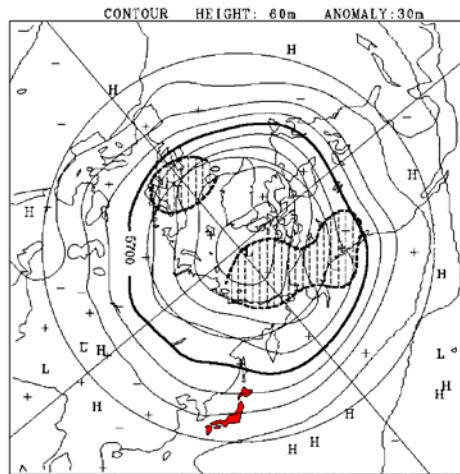
予想図では極付近は負偏差域（寒気に対応）、中緯度帶は正偏差域（暖気に対応）。ただし、日本の北の高度も高く、沿海州付近の等高度線はやや北へくびれており、一時オホーツク海高気圧の影響を受ける見込み。

月別の地上気圧と偏差の予想図（下図。なお、予想図の精度は予想対象期間が先になるほど低下します。）：

6月：正偏差（平年より気圧が高い）の中心が、北海道と日本の南海上にあり、北の高気圧、南の太平洋高気圧ともに強い。二つの高気圧の境では梅雨前線に相当する等圧線のくびれが明瞭で、前線の活動は活発。東北地方は太平洋側や南部を中心に、平年に比べ曇りや雨の日が多い。また一時オホーツク海高気圧が現れ、低温になることがある見込み。

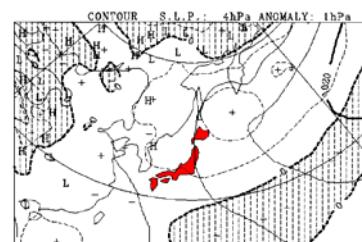
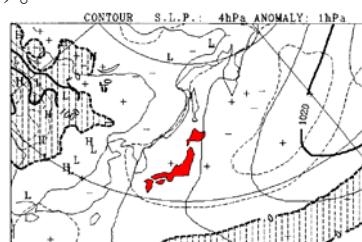
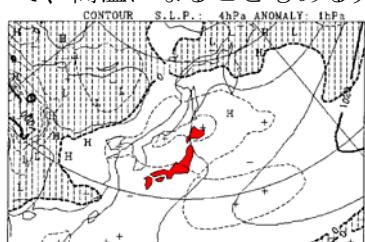
7月：日本付近は平年より気圧が高いが、太平洋高気圧の軸は日本の南に伸びており、太平洋高気圧が北に勢力を強めている状況ではなく、東北地方は前線の影響を平年同様に受けると考える。東北地方は平年同様曇りや雨の日が多い見込み。

8月：日本付近は平年に比べ気圧が高く、偏差の中心は北海道の北。北に偏った高気圧からの湿った東風の影響で、低温となり天気がぐずつ可能性があるが、太平洋高気圧が北へ張り出し晴れて、高温になることもある見込み。



3か月平均の500hPa高度と偏差の予想図

実線は等高度線：60m毎、点線は偏差：30m毎
陰影部は負偏差（一般に寒気に対応）

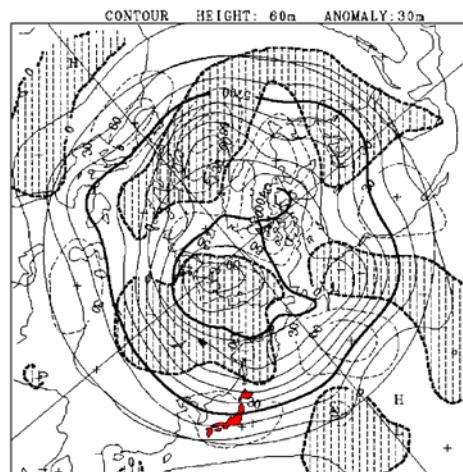


月別の地上気圧と偏差の予想図（左から6月、7月、8月）

実線は等圧線：4hPa毎、点線は偏差：間隔1hPa毎、陰影部は負偏差

2. 循環場の特徴

5月：500hPa高度では、日本付近は正偏差で、平年に比べ高度が高い。太平洋高気圧が平年より北に位置して、その北縁の前線が日本の南岸から本州付近に停滞することが多かった。このため東北南部は曇りの日が多く、日照時間が少なくなったが、東北北部は晴れの日が多かった。



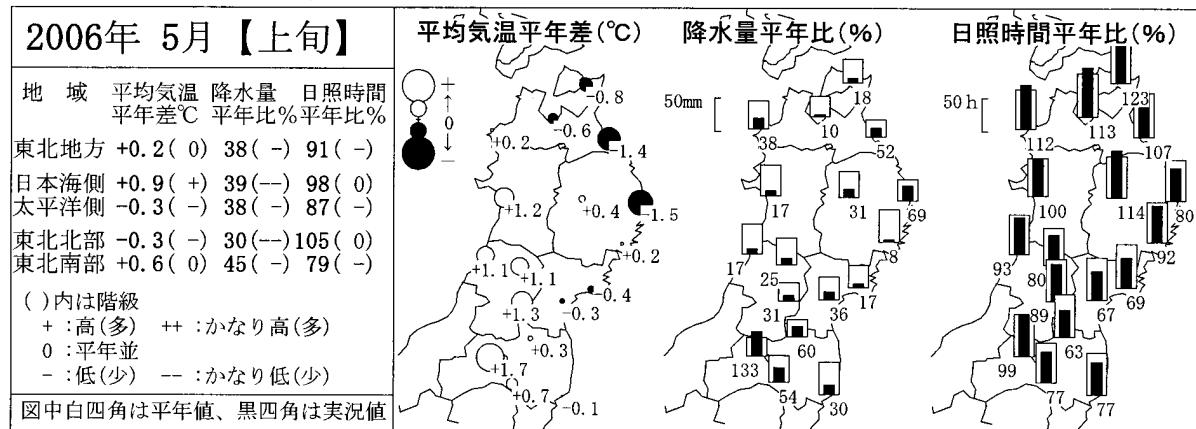
5月平均500hPa高度（予想値を含む）

実線は等高度線：60m毎、点線は偏差：30m毎
陰影部は負偏差

3. 最近の天候経過

5月上旬：高気圧に覆われ東北日本海側では晴れの日が多かったが、高気圧は北に偏る時期があり、東北太平洋側では、冷たく湿った東よりの風の影響を受けたため、南部を中心に曇りの日が多かった。

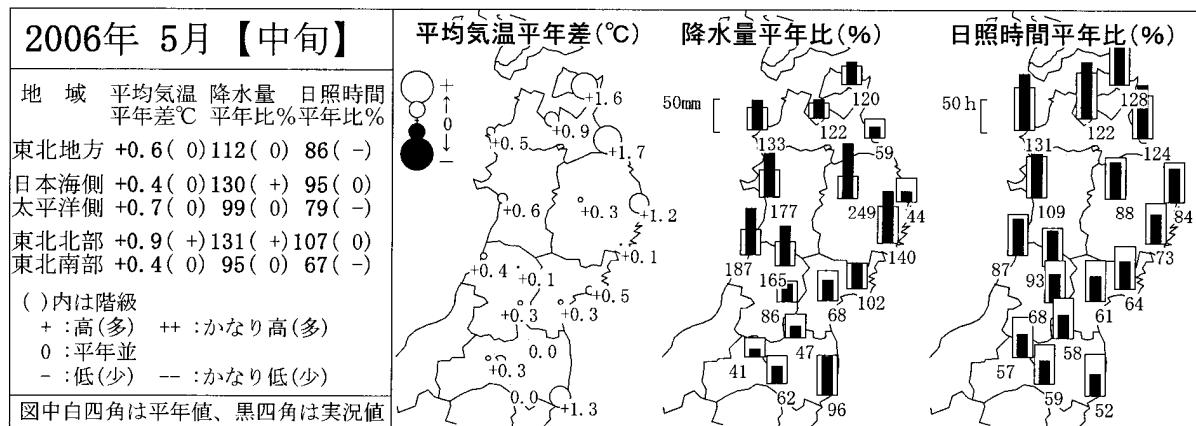
平均気温は東北日本海側で高く、東北太平洋側で低い。降水量は東北北部でかなり少なく、東北南部で少ない。日照時間は東北北部で平年並、東北南部で少ない。



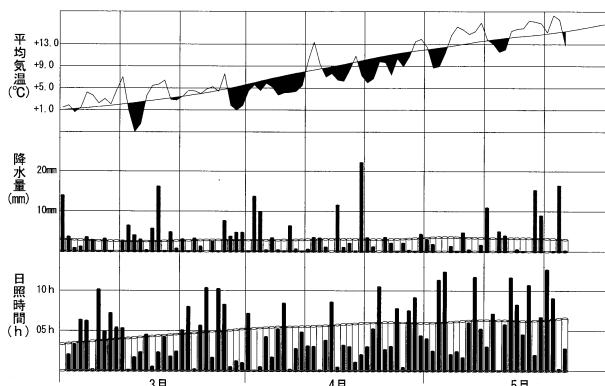
東北地方における5月上旬の平均気温、降水量、日照時間平年差（比）

5月中旬：東北北部は高気圧に覆われ晴れの日が多かったが、東北南部は本州の南岸に停滞した前線の影響により天気がぐずついた。19日は台風第1号から変わった低気圧が日本海を東進したため、東北北部を中心に大雨となった。

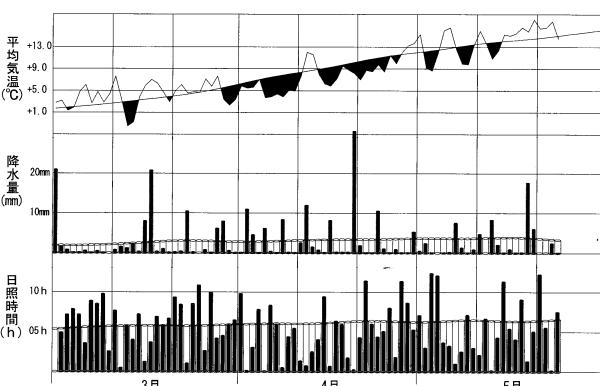
平均気温は東北北部で高く、東北南部で平年並。降水量は東北北部で多く、東北南部で平年並、日照時間は東北北部で平年並、東北南部で少ない。



東北地方における5月中旬の平均気温、降水量、日照時間平年差（比）



東北日本海側の日別経過図



東北太平洋側の日別経過図

気象官署の日別観測値と日別平年値の地域平均（気温：実線と点線、降水量・日照時間：黒い円柱と白抜き円柱）

4. 太平洋赤道域の海水温等の状況、及びエルニーニョ現象等の今後の見通し

エルニーニョ監視速報 (No. 164) より抜粋。 (気象庁ホームページ: <http://www.jma.go.jp/>)

太平洋赤道域の海面水温は、南米沿岸付近で平年より低いことを除き、ほぼ全域で平年並だった。海洋表層(海面から深度数百mまでの領域)の水温は、東部で負偏差、西部で正偏差の状態が持続した。太平洋赤道域の西部で対流活動が平年より活発で、中部の大気下層では東風偏差が持続した。ラニーニャ現象時の特徴は、海洋ではほぼ解消したが、大気では依然残っている。

エルニーニョ監視海域の海面水温は夏から秋にかけて基準値に近い値で推移すると予測される。

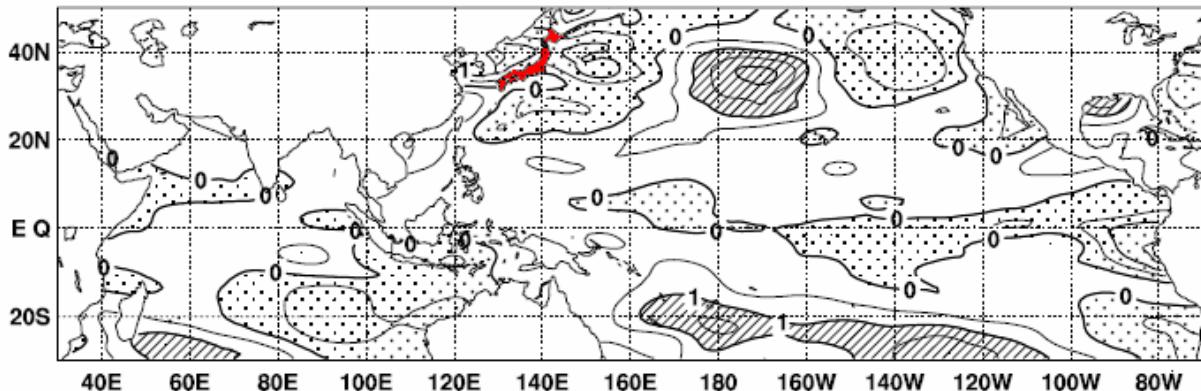


図 2006年4月の海面水温図平年偏差図。太線は1°C毎、細線は0.5°C毎の等値線を示す。濃い陰影部は海面水温が平年値より1°C以上高い領域を、淡い陰影部は平年値より低い領域を示す(平年値は1971~2000年の30年平均値)。

<参考資料>

①. 平年の天気出現日数(日)

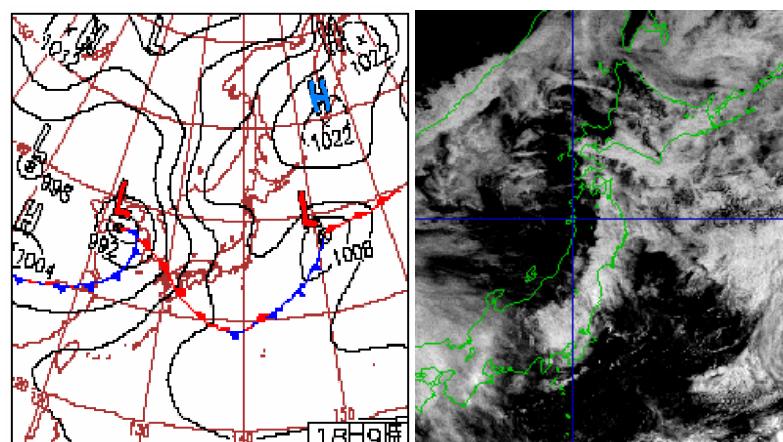
	6月		7月		8月	
	東北日本海側	東北太平洋側	東北日本海側	東北太平洋側	東北日本海側	東北太平洋側
晴れの日	14.3	12.0	14.6	12.6	18.1	15.8
雨の日	10.3	10.4	10.9	11.1	9.7	9.9

注:季節予報では、「日照率40%以上の日数」、「日降水量1mm以上の日数」をそれぞれ晴れの日、雨の日の目安として用いている。この2つの事象は同じ日に起こりうるため、両方に数えられる日もある。なお、日照率は1日の日照時間を可照時間(太陽の中心が東の地平線に現れてから西の地平線に没するまでの時間)で割った値である。

②. ヤマセ

オホーツク海付近に高気圧が現れると、東北太平洋側には冷たく湿った東よりの風(ヤマセ)が吹き込みます。オホーツク海高気圧は長く居座ることがあり、そうなると東北太平洋側を中心に低温が続き、天気がぐずつくため、農作物に大きな影響を与えます。

2003年はオホーツク海高気圧が長く居座り大冷害が発生しました。右図は2003年7月18日の天気図と衛星写真です。ヤマセに伴う雲は背が低いため高い山を越えられません。衛星写真でも奥羽山脈の東側では雲に覆われていますが、西側ではよく晴れている様子がわかります。また、この日の最高気温は、日本海側の秋田では28.9°Cでしたが、太平洋側の宮古では16.8°Cまでしか上がりませんでした。



2003年7月18日09時の地上天気図と衛星写真

図中のHは高気圧、Lは低気圧を表す。